

パートや派遣労働者らを組織する労働組合、全国コミユニティ・ユニオン連合会（全国ユニオン）などは二十日、衆議院第一議員会館で労働者派遣法改正を求める集会を開いた。写真。民主党「次の内閣」厚生労働相の山田正彦衆院議員ら野党議員のほか、公明党の遠山清彦参院議員らも参加。派遣労働の実態や関連法制度の課題などについて意見を交換した。

集会では民主党や公明党、国民新党、社民党、共

## 派遣法改正求め集会

与党議員も参加、意見交換



### 全国ユニオン

産党の議員が相次いであいさつした。公明党の遠山氏は、全国ユニオンから派遣労働の実態についてヒアリングした。

と明かしたうえで、規制強化の方向で「与党の一員として皆さんの力になれるようにがんばりたい」と述べた。

集会を共催した非営利組織（NPO）法人「派遣労働ネットワーク」代表の田野麻美弁護士は派遣法改正私案を示し、労働者派遣が原則自由化となった「一九九九年以前の規制に戻すべき」と主張。与野党各議員に「一致できる点から手を合わせて実現してほしい」と訴えた。